



☆お久しぶりです、櫻場の特別号です☆

以前、私が校長面接についてこの「夢の架け橋」を書かせていただいたのは、第11号と第16号、6月の頃です。もうそこから半年が経とうとしているなんて、時の流れは早いですね。今回はまだ進路についてぼんやりとしか考えていなかったみなさんも、今ではすっかり受験モード。勉強や面接練習を一生懸命行っている姿を毎日たくさん見かけるようになりました。(佐藤先生いわく、「まだまだ足りない。」とのことですが…。)

さて、そんなみなさんに、**12月5日～12月20日の期間**で再び校長先生が面接をさせていただきます。面接の練習は十分にできていますか？

- はっきりと大きな声で「失礼します」と言って入室できる。
- 正面を向いて30°の礼をし、堂々と「お願いします」が言える。
- 姿勢良く座り続けることができる。
- はきはきと面接官の目を見て受け答えができる。
- 一連の動きをひとつひとつ確実に、かつ自然に行える。

以上の5つのうち、一つでも自信を持ってチェックが出来なければ、少し練習し直した方がいいですね。鏡の前で自分の様子を観察したり、友達と指摘し合ったり、家族と練習したりしながら自分の所作を確かめてみてください。面接所作はどこの中学校でも徹底して教え込まれます。つまり、「所作が出来れば他の受験生と差が付けられる」のではなく「**所作が出来なければ他の受験生に差を付けられてしまう**」のです。

さらに、今度の校長面接は「グループ面接」の練習になります。他の人と同時に行うため、**練習量の差**がはっきりと現れます。十分に対策をしている人は今回のことを自信に、まだまだ練習が足りないという人は、これから頑張るきっかけになってくれればいいと思っています。また、グループ面接では、話し方や聞く態度などから、集団の中での**協調性**や**積極性**といった、グループ面接でしかみることができない評価も重視されますので、その点を理解した上で面接に臨んでください。

最後に、裏面に校長先生が出して下さった面接要項を載せていますが、今回の目的の一つに「学力の向上を図ること」とあります。**過去の入試問題の形式について質問**を聞いたり、**フラッシュカード形式でいくつか実際に問題**も出したりして下さるそうです。みなさんの受験生としての意識を、さらに高めるために用意をして下さった校長先生に感謝しつつ、受験生としてしっかりと答えられるよう準備をしておきましょう。

各教室でも担任の先生や友達同士で面接練習をしているでしょうが、本番に近い緊張感を作ることとはなかなか難しいものです。校長面接で緊張感を味わい、何かをつかんでください。緊張は誰もがするものです。して当たり前です。その中でも自信を持って自分の良いところを発揮するためには、「これだけやったんだから」と思える「これだけ」の積み重ねが必要になります。みなさんの努力の成果を楽しみにしています。

【平成28年度 3年生徒校長集団面接について】

校長が本校の3年生徒全員171名と五対一で面接をします。

1 目的

- (1) 学力の向上を図る。過去の入試についても質問。
友達の出来具合も確認し頑張る。

埼玉県公立高校の過去の入試問題も聞くので勉強しておいてください。

- (2) 校長との集団面接をとおして、マナーや言葉遣いを学ぶ。

2 日時

毎日放課後 12/5日より9日間

面接は、五人10分程度

3 面接の方法

(1) 入室のマナー

① ドアノック(2回)

② ドアオープン(両手で少々)→会釈(一礼)→ドアクローズ(ドアに向かって両手でていねいに)→正面に向かって姿勢を正して「失礼します」→手招きされた位置に進む→その場で姿勢を正す

(2) 面接時の礼儀

① 挨拶→一礼→学級名・氏名を述べる→「お願いします」

② (「どうぞ」と言われてから「ありがとうございます」と言って)着席

③ 質問に対する受け答え

○ 両手を膝に整えて

○ 背筋を伸ばして

○ 両足を閉じて

○ はきはきとていねいに「です」「ます」調で答える

・「はい、そのことにつきましては、○○です。」

○ 笑顔で落ち着いて

④ 起立→椅子の左へ一歩密って

⑤ 挨拶→姿勢を正して一礼→「ありがとうございました」

⑥ 回れ右→ドア付近へ進む→回れ右→ていねいに一礼して「失礼します」

(3) 退室のマナー

① ドアに向かって両手でていねいにドアオープン

② ドアを両手で支えたまま姿勢を正面に整えて一礼→ドアクローズ

